令和８年度　南陽東中学校　総合的な学習の時間　全体計画

学校教育目標	学習指導要領目標
『心身ともに健康で、 　将来に向かって学び続ける生徒の育成』 ＜重点項目＞ ・「関わり愛　学び愛　認め愛」の学校努力点のもと、多様な人と学び合う場面を設定・工夫する。 ・総合的な学習の時間で探求型の学びをたっぷり経験できるようにする。 ・子どもが自己選択・自己決定する場面を設定する。 ・キャリアナビゲーターを活用して、キャリア教育を充実させる。	探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 ⑴　探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。 ⑵　実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 ⑶　探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

学校において定める総合的な学習の時間の目標

知識及び技能（㊚）	思考力、判断力、表現力等（㊟）	学びに向かう力、人間性等（㊦）
課題に必要な知識や技能を身に付けたり、探究的な学習を進める方法について理解したりする。	課題に対する解決方法を考えたり、必要な情報を集めたりすることができるようにし、集めた情報を整理・分析し、分かりやすく表現する力を身に付ける。	探究的な学習の過程において、課題に協働的に取り組んだり、粘り強く取り組んだりすることを通して、自分の生き方について考える姿勢を育てる。

総合的な学習の時間の内容

		1 年	2 年	3 年
目標を実現するにふさわしい探究課題		高校訪問	稲武野外学習・職場体験学習	修学旅行・進路学習
探究活動の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力		㊚　自己理解や進路の幅を広げることの大切さを理解することができる。 ㊟　インターネットや図書資料、施設訪問で集めた情報を整理・分析し、分かりやすくまとめ、表現することができる。 ㊦　高校訪問と事前学習における自分の探究課題について、主体的・協働的に取り組もうとしている。	㊚　仲間と協力するよさや職業について理解することができる。 ㊟　インターネットや図書資料、職場体験で集めた情報を、整理・分析し、分かりやすくまとめ、表現することができる。 ㊦　稲武野外学習・職場体験学習における自分の探究課題について、主体的・協働的に取り組もうとしている。	㊚　自己の特性や能力、取り巻く環境との関わりを理解することができる。 ㊟　進路や社会について集めた情報を整理・分析し、自己の生き方を表現することができる。 ㊦　修学旅行・進路学習における自分の探究課題について、主体的・協働的に取り組もうとしている。
学習活動	1学期	○　環境学習 ○　キャリア教育 ・　毎日の生活に、楽しさをみつけよう！ ○　進路学習	○　環境学習 ○　稲武野外学習 ・　稲武野外学習に向けて ○　進路学習① ・　職業調べ	○　環境学習 ○　進路学習① ・　上級学校説明会 ○　修学旅行① ・　修学旅行に向けて ・　まとめ、発表

	2学期	○　ＳＤＧｓについて ○　合唱コンクールに向けて ○　体育大会に向けて ○　高校訪問① ・　事前学習 ・　まとめ	○　合唱コンクールに向けて ○　体育大会に向けて ○　進路コンパス ○　進路学習② ・　職場体験学習に向けて ・　マナー講座	○　合唱コンクールに向けて ○　体育大会に向けて ○　進路学習② ・　進路選択に向けて ・　面接指導
	3学期	○　高校訪問② ・　発表会 ○　３年生を送る会に向けて	○　進路学習③ ・　職場体験学習まとめ ・　上級学校調べ ○　３年生を送る会に向けて	○　進路学習③ ・　進路先へ向けて ○　３年生を送る会に向けて
指導方法		・関心・意欲を高めるための体験活動を重視する。　・課題意識を連続発展させる支援を行う。 ・対話を中心とした協働的な学習活動の充実を図る。　・教科との関連的な指導を重視する。		
指導体制		・担任以外の教職員による支援体制を整えたり、外部講師を積極的に活用したりする。 ・地域素材や地域の人々との連携体制を整え、積極的に活用する。		
学習の評価		・学習活動の過程や成果などの記録、発表や表現などのプレゼンテーションや作品による評価をする。 ・自己の振り返り、ワークシートなどによる自己評価や意見交換・評価カードによる相互評価をする。		